
たわいもない戯言

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たわいもない戯言

【Nコード】

N2272R

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

私個人のたわいもない戯言です。興味のある方はどうぞ……。

戯れ言なので、小説ではありません。小説として読めない事もないかもしれないけれど……やっぱり小説じゃないな。

（前書き）

誰も批判するつもりはない。

なんとなく書いた文章。意味は無い。活動報告に書くのかと迷ったが、活動報告は読む機会がある方は少ない。だから、ここに記述する。

過去に感想を『書きましよう』という作品にも満たない文章を残した。結果、得られたモノは、『感想を書きたくなるような執筆をする事だ』という意見が大多数だった。あの頃は、自分自身にも感想が少なく、あの執筆をする事で、多くの反感（特に感想を書かない読者が悪いのか！！）なんて批判と、実際執筆をしても、アクセス・ユニーク数が多いものの、感想数が少なく、共感します。なんて感想が多く寄せられたモノだ。

確かに感想を貰う為には、感想を書きたいという気持ちにさせる作品を制作・作成・執筆する必要があるのは、当たり前だと、今考えると、そう思う。自分自身も多くの作品に目を通し、なるべく感想を残そうと試みるが、感想を書けない作品も多数存在する。

しかし、よく考えてみよう。執筆者は独自の世界観の中から物語や詩の執筆を行う。自分が書いている物が他者に受け入れられているのか、何故感想が貰えないのか考えるだろう。そこで必要なのが感想という簡易評価ではないだろうか？

執筆者の中には、携帯（PC）小説のセオリーである文法（私自身も過去に他のユーザーから指摘を受けた）が、いまいち理解出来ていない者が多い。

文章中に表記される『！』『や』『？』の後に1スペースを空ける事

や、段落を活用し、読み易さを追及する事。沈黙の表記を短めであれば『……』と表し、長めであれば『……』と表記する事。」「内における文章の最後に『。』が不要である事を知らない著者も多数存在する。

一概にセオリーに準ずる必要はないのかもしれないが、読み手としては、気にならないといえば嘘になる。

詩などにおいては、段落やセオリーを無視した記述方式でOKだと思うが、それでも読み易さの追及は必要不可欠ではないだろうか？

「読んだら感想を書こう」なんて事は、もう言わないつもりだ。感想を残して貰えるような作品を書けば良いのだから。でも、感想の書かれていない作品には慈悲でもいいから、感想を書いてあげて欲しいと思う。そして、感想を書かれたら、その感想に対する返事を書いて欲しいと思う。

感想欄に『良い点』『悪い点』『一言』とある。私は、『良い点』と『悪い点』は無視してよいと考える。『一言』の中に、作品に対する素直な感想と、アドバイスを練り込み書く事で、作者同士が刺激しあい、より良い作品へと昇華され、切磋琢磨する事により、『小説家になろう』というサイト内の向上。強いては、著者のLv・Upに繋がるのではないかと考える。

但し、コレは個人の意見であり、他者への押し付けや押し売りではないので、『何言ってやがる！』『感想を書かない者が悪いのか！』と気分を害される必要はない。

共感できる。共感しようと思う者だけが、頭の片隅に留めていてくれれば、それでいい。

私自身も感想が欲しいし、PTも欲しい。けれども、これは大多数の著者が思っている事だと思う。私は自分の芯にある文章表現を曲げるつもりは毛頭ない。だから、この文章も私個人のただの小さな意見として、読んで頂けたらと思う。

先程も言った通り、決して『押し付け』や『押し売り』ではない。感想を書かない著者を悪者扱いするつもりもないし、感想を書かない読者を悪者扱いするつもりもない。

私の個人としての意見を記述させて頂きました。支離滅裂で、まとまりのない文章になって、申し訳ありませんでした。

（後書き）

先日も書いた一期一会。コレを、サイト内で確立できたら、もっと刺激しあい、もっと切磋琢磨出来と思うんだけどなあ……。

まあ、個人の考えなので、共感できる人以外は無視して下さい。

誰も悪者にするつもりはないから……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2272r/>

たわいもない戯言

2011年10月8日01時15分発行